

【参考】本市が昨年度に実施した水素啓発教室の例（中学生全学年 106 人を対象に実施。）

	実験ブース	FCV 見学・座学ブース
準備	(1 時間程度)	
1 目	冒頭(5 分程度)：全体挨拶・説明 @体育館など	
	A グループ (生徒 53 人) 1 班：燃料電池ミニカー 2 班：水素ロケット ※20 分程度で 1 班と 2 班を入替 @体育館 【参考】スタッフ人数 実験説明者 1 名 実験説明者の補助者 1 名 実験のサポート各班 2 名ずつ	B グループ (生徒 53 人) 座学 @武道場など →水素車両見学 @正面玄関など屋外 【参考】スタッフ人数 座学説明者 1 名 車両説明者 3 名 (「Moving e」、「FC 給食 配送車」、「MIRAI」)
2 目	児童・生徒入れ替わり (休み時間内に移動)	
	B グループ 1 班：燃料電池ミニカー 2 班：水素ロケット	A グループ 座学 @武道場など →水素車両見学 @正面玄関など屋外
	最後(5 分程度)：全員体育館に移動し、全体挨拶	

※実験ブースについては、燃料電池ミニカーや水素ロケット 1 セット当たり 4 ～ 5 人の生徒で実験を実施。